

1. 件名：浜岡原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年3月15日（水） 10時30分～11時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他6名※

電力中央研究所 1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・第1122回 原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合 ご指摘事項について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい原子力規制庁地震津波のスズキです。それでは中部電力との面談をこれより開始します。
0:00:10	本日の面談は、3月9日ですかね1020、1122回の審査会合これの指摘事項についての確認はラップアップの面談となります。
0:00:23	中部電力の方から、本日付で1枚、資料ですね、提出でございますので、まずこちらについてご説明をいただいて、一応当日の議題が地質の関係のものとスケジュールがありますので、
0:00:37	ちょっと多分それぞれごとで分割して確認し合った方がいいかと思えますけど、そのような形で進めたいと思います。ではまず中部電力の方から、資料の方説明をお願いします。
0:00:48	はい。中部電力天野でございます。
0:00:51	第1122回先週3月9日に実施いただきました、審査会後に
0:00:59	おけるご指摘事項について整理して参りましたのでご説明をさせていただきます。今鈴木さんからお話ありました通りで敷地の地質地質構造のお話と審査スケジュールと、
0:01:09	二つございますので順に説明させていただきますと、ご指摘いただいた内容が我々の理解が正しいかどうかの確認をさせていただきたいと思えますのでよろしく願いいたします。
0:01:27	中部電力の森本でございます。
0:01:29	先週は審査会合ありがとうございました。まず敷地の地質地質構造についてのコメント等です。2ポツご指摘事項のところになります、
0:01:39	まず1点目といたしまして、
0:01:41	上載地層の堆積年代に関する評価については、基準適合性を説明するための明確な論理構成とそれに資する根拠となる部署を示す必要がある。
0:01:52	そのために、どの調査部署取りに行くのか。
0:01:56	評価及び評価方針の全体像について再度説明することというご指摘をいただいたと認識しております。
0:02:03	特に、御前崎地域の標高50メートルに分布する改修に伴う堆積物であると。
0:02:09	いうことを示せば、堆積年代が約12から13万年前であると。
0:02:15	する、その堆積年代に関する評価の前提条件、これに関しましては、それが成り立つ根拠を説明することと、
0:02:23	いうご指摘だと認識しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	それから、追加調査の結果を説明するにあたっての留意点を何点かいただいておりますので、
0:02:32	五つほど
0:02:35	記載をしております。
0:02:37	まず A 層が M I S 5 e の堆積物であると評価するにあたっては、古谷泥層の全体像分布範囲層相変化、地区ごとの三条、
0:02:46	含有鉱物の特徴を整理した上で泥層との関係を示すこと。
0:02:50	それから離れた地点間で、地層の対比をするにあたっては、対比に至る調査結果を用いて評価を行う必要があると。
0:02:58	いうことで、
0:02:59	何の調査結果に基づけば対比できるのか、論拠を明確にした上で説明することと、
0:03:05	それから、調査結果から言われたデータについては、これまでに取得しているデータも含めて丁寧に分析し、総合的な解釈を行うこと。
0:03:16	B F 4 地点付近の堆積物の関係を整理するにあたっては調査結果から堆積物の層序関係を明確に示すこと。
0:03:24	最後火山灰の話ですけれども降灰層準の認定にあたっては、泥層がどのように堆積したのか、堆積層から念頭するなど慎重かつ丁寧に検討した上で判断を行うこと。
0:03:35	こういった留意点についてもご指摘をいただいたものと認識しております。
0:03:41	まず敷地の地質地質構造に関しては、以上になります。
0:03:50	どうでしょうかここで一旦切って、
0:03:53	特に、
0:03:54	次回ということじゃちょっと事実関係で何かありますか。
0:03:59	規制庁谷です。
0:04:01	多分言ってること会合で言ってることは大体入ってるんだと思います。
0:04:09	会合でやっぱり
0:04:14	ちょっと私の理解も追いつかなかった部分があって、その辺何かあったら確認していきたいんですけども、結局、
0:04:22	中部電力としては、何か、7 ページとか、
0:04:27	介護資料の 6 ページから 8 ページにこう書いてますけど、
0:04:33	何て言うのかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:36	50メートルに兵庫50メートルに分布する堆積物である泥層っていうの、
0:04:41	礼装が開始んだったら、もう古いんだよっていう話が、それをこう説明する。
0:04:51	多分それだけでは説明するつもりじゃなくって何かいろいろ8ページの例えば*5だとか*6だとか、
0:04:59	そういったこともこうなんか加えて説明しないと、こんな成り立たない前提条件なのかなっていうふうには感じてて、それがですね多分これ、
0:05:10	5ページだとかでは裸でその50メートルである回診堆積物はもうM I S 5eですってイコールになっててっていうのが、何か、
0:05:20	資料上こう、
0:05:22	何か、
0:05:23	わかりにくくて、それでちょっと話がかみ合わなかったところもあるのかなというふうに私会合で思ったんですよね。で、
0:05:34	あとはもう一つ介護でよくわからなかったのが地形層序解析っていうのを、中部電力もともと
0:05:43	もっと地形面の解析をやられてた。
0:05:47	と思うんですけど、それを複素それが地形層序解析の話かと思ってたんですけど、
0:05:54	何か会合で聞いてるとそうじゃなくても、
0:05:57	そのエッセンスは今の資料の中に入ってんだっていうような感じに聞こえたんですけども、ここの地形層序解析をやっていくっていうのが、
0:06:06	何回、今のコード、どことこの部分のことを言ってるのかが私よくわかんなかったんですけど、
0:06:14	今補足があれば、聞かせて欲しいなと思うんですけど。
0:06:21	はい。森本です。まず最小のご指摘いただいた、
0:06:29	梅崎の50メートルに分布する開始に伴う堆積物がM I S 5eだとしているところの、
0:06:37	話が実はそれだけでは落ちていなくて、
0:06:43	我々としては50メートルに笠名礫層も分布していて、
0:06:49	それとは別に、後椎野
0:06:53	改修に伴う堆積物っていうのも、
0:06:58	今、文献では知られてないんですけど、そういうのが全くないんだという話も、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:03	文献だけだと、
0:07:07	当然見落としもあるのでちゃんと検討しますと。
0:07:10	いう話は、今ちょっと補足的な。
0:07:12	書き方で、書いてしまっていて、ちょっとそれが表に見えてない5ページのフローなんかでも、
0:07:24	どういう感じになるのか見えないというのは、ちょっと問題だというのは認識しましたので、ちょっとその辺は、
0:07:30	提示の仕方といいますか説明の仕方は工夫させていただきたいと。
0:07:35	思います。
0:07:37	まずは
0:07:38	文献であったり、
0:07:40	日本全国国内が含めて、
0:07:47	開始に伴う堆積物であれば郷飯田というところは、大局的には示すものの、そういうローカルルーな、
0:07:55	はい。
0:07:58	ところの検討もちゃんとやっていきますというところをもう少し見えるようにはさせていただきたいと思います。
0:08:03	それから
0:08:04	地形層序解析の話ですけれども我々従来から地形面の検討というのを示しているんですけど、
0:08:14	どちらかという今まで運び、BF4に特化したといいますか、上載層に特化した検討になって、
0:08:20	ていて、
0:08:21	御前崎キーの地形の成り立ちってこういうものなんだよっていうところを含めて、
0:08:30	50メートルに分布する堆積物がどういったものなのかっていうところを、検討したいということで今回、地形層序解析も含めて、演繹的にこういったところを説明していきますという、資料にさせていただいてます。なのでちょっとそういう、
0:08:45	BF4に特化したじゃなくて、もう少し広い範囲の検討していきますという意味で、
0:08:51	資料に付け加えさせていただいてます。
0:08:55	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	会合でだから、今後こういうことをやっていきますっていう話のように思ってたんですけど、3ページでね、
0:09:08	こういう評価をするのは、その前提条件も今からちゃんと整理するんですけどっていうような位置付けかと思ってたんですけど、いや何か会合でも何か6ページから8ページまでで、
0:09:20	もう説明は仕切っているんだっていうような、これでもう説明できると思ってますみたいな話をされてたんですけども、
0:09:30	あくまでそれぞれ若生昆、河内珪藻城解析だとかもっともこの辺の前提条件をやっていくっていう条件、という資料だったっていうことではないんですよね。
0:09:42	はい。中部電力浜野です。谷さんのおっしゃる通りでちょっと、我々としての6ページから8ページっていうのは、こういう方向性で整理をして参りますと。
0:09:53	演繹的にはこういうことがいえるであろうというもくろみで書いてはいるんですがまだ、当然文献とかきちっと拾ってこここうだからっていうところ。
0:10:04	論理がしっかり書き切れてるわけではなくてあくまで前回は方針として、ダイジェストのしてるだけなんで次、しっかりコメント回答の中でここんところ、
0:10:14	書き切って、その中で当然地形層状解析なんかも入れていくんですけど、まだ、6から8だと、いや、言いたいイメージわかるけど全然根拠R I Sじゃないかっておっしゃる通りで、ちょっと書ききれてないんですがこれからしっかり固めて参りますというのが、私たちのお伝えしたかったところでございます。
0:10:34	井谷です確認できました。そういうことであればですね、会合の議論と今のコメントっていうのが繋がっていくのかと思ってます。あとちょっと、
0:10:45	確認させて欲しいんですけど、3ページで、介護資料の3ページで、変更前と変更後って変えてるけど、
0:10:52	結局その、
0:10:54	結局のところ、
0:10:58	泥層から二つ、前は分かれてまして、M I S 5 e モーション M I S 5 e であることも説明します M I S 5 c であることも説明しますっていうんで、5Cではないことを説明しますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:10	過去、こうやってこう分かれてたんですけど、ここの部分は、変更後でも5Cが左から矢印になってるんですけど、結局やる事というか、
0:11:22	ここはこれ変わらないし、そうなってくると、過去言ってた課題認識した課題とかいうのも、基本的には
0:11:32	継続しているっていいんですかねそれともこれはこう変えたことによって、過去課題として我々こう指摘したことがもう解消されてるっていうような、
0:11:43	ところなんですかちょっとその辺確認させてください。
0:11:47	中部電力天野でございます。ありがとうございます3ページの話も、
0:11:53	課題認識したところを変える気はなくてここでお伝えしたかったのは、前回までは古谷泥層は笠名礫層というお詫びで、それぞれ対比したんですけど、
0:12:06	やはり先ほど申し上げた通り、M I S 5 e の泥層っていうのを文献なんかで私たち調べて参りますと、どうしたって、
0:12:17	鴛田の方の本流の分厚いものの文献しかない。一方で、B F 1 とか4とかっていうと、
0:12:27	2もそうですけど杉山さんが増幅には書いてるものの特徴ってどうか、どこかっていうところまではまだ拾いきれてなくて我々の調査で結構明らかにしている部分が、
0:12:38	ありますので、右側変えたのは古谷泥層という要はメジャーに言われているものと、同時代にたまったであろう泥層という集合体の中の一つじゃないかと。
0:12:51	いうまずもろみをつけた上で、その中におそらく共通項があるのでそれと比べますということ、先ほどAと比較するということは変わりませんし、
0:13:02	笠名礫層じゃないってのは演繹的には違うと思いますが当然これも対比するので、課題に対してはすべて同じような対応をするつもりでいますちょっとそのあたりがまだ書ききれてなかったところもありますので、次回のところでしっかり、
0:13:16	そういった私たちの思いを、データとともにで説明できるようにしていきたいと思います。
0:13:25	は井谷です。
0:13:28	はいわかりました状況ですね、課題は、そのそのまま対応、引き続きご対応が必要になるということですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:38	ちょっと話逸れますけど、そのさっき言ったこのこのこ3、3ページの青と緑の、何か議論が結構会合で、長く続いてしまったんですか。
0:13:51	これって結局、
0:13:55	なんか他で笠名層闘争とか名前使ってますけど、古井古谷泥層相当そうである。
0:14:00	そういうことを言いたいってということなんですよね。なんか多分ワーディングだとかねそういうことでちょっとひょっとしたら、
0:14:07	すれ違ってるのかもしれないけど全く違うような話をしているのか古谷泥層と全く違うようなものをしているのかとか、そういうのがね。
0:14:16	なんか、多分、
0:14:19	最初の段階でイメージが合ってなかったっていうのもあるのかと思いますので、
0:14:26	この辺の説明をしっかりと説明していただいたらいいかなと思ってます。
0:14:37	はい森本です。ありがとうございます今谷さんおっしゃったように増やそうとそうってことを言いたいだけなので読みすぎにたまった。
0:14:46	会社堆積物がそれが古谷泥層と呼ばれているそれと相当するという。
0:14:52	もうちょっと大きい括りで、
0:14:55	整理をしたというだけになりますので、うそあたりは説明の仕方をする頭の、
0:15:01	記載の方法は工夫させていただきます。ありがとうございます。
0:15:10	はい。お願いします。あとは、今日作っていただいたペーパーの二つ目のチェックマークのところなんですけど、
0:15:19	これ上から、
0:15:20	三つ四つめまで私が最後、
0:15:24	続けて言ってることなんですけれども、
0:15:29	ほぼそのまま書かれてるかなと思ってます。ただね府、下から二つ目のBF4地点の堆積物の関係をセールスするにあたっては、
0:15:40	調査結果で堆積物の層状関係を明確にすることって言ってます。
0:15:46	こここういうことではあるんですけど、私が言いたかったのは、
0:15:54	各地点で獲られたデータの関係を整理するためには、層状をちゃんとする必要がありますよ。だろ。当たり前のこととして思ってるかもしれませんが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:05	各データがどういう関係なのかは、層状をちゃんと組み立てないと、なかなか説明できないですよねと、納得いくような説明にならないと思いますんで、もう一つは、
0:16:16	じゃあ層状組み立てるにはどういうことを考えるかっていうと直接露頭で確認できるようなものをしっかり観察はしてくださいねという話で、もう一つは、
0:16:26	もう一つ、それと、何か同時に言ってしまったから能登と特別出してないと思うんですけど、
0:16:34	何でしたっけ、笠名礫層相当層との、
0:16:38	関係を直接かけ、確認できるると、これ探すっていうのは、
0:16:44	前回と変わらず我々大事なことだと思っていますよっていうこの3点ですか。
0:16:50	ていうのを何か1度に言ってしまうんですけどその辺は伝わってますかね。
0:16:59	はい森本です。谷さんにもおっしゃったことを我々も認識しております。ただちょっと今記載として、
0:17:07	層状を示すことが目的みたいになっちゃってるので、
0:17:10	環境をちゃんと整理するための手段として、層状、
0:17:15	大賀大事なんだよというところがもう少し見えるように、
0:17:19	御社としては、適正化させてもらいたいと思います。
0:17:27	はい。お願いします。
0:17:31	一旦私の方の確認は以上です。
0:17:39	規制庁のニシキです。私の方からコメントさせていただいたのは、火山灰の検討のところで、今回でいくと、最後のポツの部分になりますけども、
0:17:52	私のは、コメントしてない方法書かれてるかと思っておりますが、一応もうそもそも、それが前提だということだと思うのでは省かれてるのかもしれないけども、
0:18:05	そもそも降灰層準の認定だって
0:18:09	火山灰そのものを対比に係る留意検討も含めて、さらにその
0:18:14	何か挟まってる側のものもちゃんと確認してくださいねという意図で、お話ししたつもりなんですけども、そのあたりは、書いてないけど当然当然のことっていう認識、いらっしゃるってことでよろしいですか。
0:18:28	はいありがとうございます衛藤梅本です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:31	西さんおっしゃったことも認識はしておりますので、ちょっとその辺りは読めるようにさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします前も、これヒアリングの方で少し聞いたかもしれないですけど今、11、
0:18:49	会合資料の11ページに書かれているような
0:18:52	カラムはいい。
0:18:54	UCが何だっけ。
0:18:57	一定のまとまってる行だけで確認とか何かちょっと書いてますがその辺のこれぐらいと少し
0:19:05	何かその対比においての認定とか相手のところも足りる足りないというのはちょっとあんだ、不足してるのでそこあったんでそこも含めてってことでよろしいですか。
0:19:16	はい、能登です。ちょっと11ページだと漠と書き過ぎのところがあるので、少しその辺はもう少し丁寧な記載にさせていただきます。
0:19:28	はい。認識です。その辺を丁寧に書いていただいた上で最初にどうなるかっていうのは検討いただければと思いますので、よろしくお願いたします。
0:19:38	私の方も以上です。
0:19:49	関係はほかによろしいですか。
0:19:55	理解の確認だけしたとか、
0:19:59	全体を、
0:20:06	すいません、
0:20:09	思ってくださいね。
0:20:11	まずすいません指摘事項が三野出のところではい。すいません。それ点二つあるうちの追加調査結果を説明するにあたっては、1個目の、
0:20:20	ところ。
0:20:21	一つですね、この古谷泥層の全体像でその全体像というのは分布範囲だったり層相変化だったり知久元産業だったりってことであれば、多分全体像括弧みたいなイメージですかね。
0:20:33	ですねこれ単なる字づらの話で、ちょっと会合でのやりとりを聞いてみて、いやなかなかこの、
0:20:39	社会の資料の冒頭で、今日の説明はっていうところなんか入口のところ、なかなかヒアリングでもかみ合わなかったんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:48	安芸さんがおっしゃったのかな。だから今回、もともと古谷泥層と何か対比って、別に何かそれが大目的ではなくて、BF4地点の上載社の泥層で直接年代が、
0:21:02	わかるものがないから、古谷泥層と対比ざるをえなくなってるはずなんで、そもそも入口に立ち返って、結局上載層の年代が12から硫酸まねる古いつていうことというのが、
0:21:12	目的のはずなんだから、そこに立ち返って何ができるかと整理すると、ダイレクトに、泥層年代を取りにいける方法はないんですかそれは、今までちょっと、
0:21:23	14、そこまでは見ていなかったグループとT e p h r aのやり方があるしそれが当然第1に来るはずで、それができ、またできなくて何か別の方法ってなると、
0:21:33	また同じように、いわゆるなんか地形学的に何だかんだという話になっていくので、そういうふうに単にその基本に戻って整理し直すとなるんです。
0:21:43	ていう、そんなそんな話かなと思っていて、その上で、前回までだとM I S 5 eはM I S 5 cというのがフィフティーフィフティーみたいな感じだったんですけど、多分その部分を、
0:21:54	文献とかをきちんと整理したり地形学的に見て、限りなくというか、いやM I S 5 eであることの方がむしろもう合理的な判断なんですよっていうところを強調したかったのかなというふうに印象を受けたんですけど。
0:22:09	ちょっとやりとりを聞いてみてですね、ちょっとその辺りいかなものかなというところでお聞きしたか確認したかったと思います。
0:22:17	はい、笹木です。今おっしゃったことをそ、その通りでして、
0:22:23	前回のロジックの欠点は、
0:22:26	M I S 5 eを顎敷いてやってしまうと、
0:22:31	どうしても矛盾が出てきてしまって、何かっていうと、
0:22:35	古谷泥層と対比が完成したら、後椎野わけがないので、そっちの検討本来要らなくなっちゃうんですね。
0:22:42	けども、その古谷泥層と対比がしっかり。
0:22:46	例えば、何かこう、キーベッドとか見つかってまじって決まれば、
0:22:50	もうそれで、実はもう欲しいだろうが、敷地の集積だろうがって検討する必要は本来ないはずだ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:56	地質学的にはね。けどもそこが曖昧だから、
0:23:00	そういった他の検討もいろいろやって、補強してはどうかというご指摘を、
0:23:05	受けた。
0:23:07	受けてきて今までやってきた。
0:23:09	ていうのがあったので、だから、
0:23:12	そこの決定をなくすのに、
0:23:15	とりあえず、もう1回その上載地層法と調査地層法として使える地層かどうかというのをちゃんと確かめながら、
0:23:23	そういった最終的には古谷泥層との対比、
0:23:27	ていうところを目指して、その中にはだから、その
0:23:31	古谷泥層と対比の中に欲しいじゃないとか、沖積層とは違うとかっていうのも、
0:23:38	入れていきますよってというのが今回の、
0:23:41	変わった点。
0:23:42	例えば変わった点であるので、だからやることも変わらなければ、
0:23:47	何て言いますかねデータの取り扱いをもちろん変えて、そういう考え方のもいろいろこうデータを、優先順位を変えて、いろいろ今取りに行ってますというご説明の資料だったんです。
0:23:59	だからその入口のところっておっしゃる通りで、まずはそこ、そこをしっかりとやることで、そういったその、
0:24:06	前のロジックの欠点を少し、
0:24:09	なくしましたっていうのが今回の資料です。
0:24:13	以上です。
0:24:15	入口のところよく理解できましたありがとうございます他、地質関係で、谷さん。
0:24:22	三谷です。あとですねこれこれまでも確認し、したらよかったのに、結局広域で対比スルーわけですよ。笹木さんの
0:24:33	別途、決定的な時代が、
0:24:37	特定できなければですね、広域で対比すると、その中に当然比木2地点も入ってて、その対比できるには対比できる論拠を示して、対比できますよってという話をするわけですよ。
0:24:50	それで比木2地点と対比できたら、比木2地点って古谷泥層ですって言ってるものと対比できる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:57	で、広域で対比できるっていうこと自体で、その改新だ何だとかいうんじゃないなくて比木2地点と対比できるから古谷泥層なんだとかそういうロジックは、
0:25:08	もう取らないんです。何かですね、そこがね、こういう形対比できるんだったらもう、
0:25:17	ずっとつなげていけるんだったら、
0:25:20	もうクリア泥層になってくるのか、いやそれともそうそうならないけれども、
0:25:27	古谷泥層じゃないかもしれない、堆積物として扱うのかっていうのがいま僕わかってなくて、
0:25:33	その辺どうなんですか。対比できる=っていうわけじゃなくてももっとも補強ほかにもしていくってようなイメージなんですか。今やろうとしてること。
0:25:45	はい。
0:25:47	米本です。
0:25:49	今谷さんおっしゃったように、比木入戸対比できるで対比になる。その前提はBFMから対比に至る。
0:26:00	何か材料が出てくるっていうことが前提になってるわけで、現状今までの調査結果だと、前回までご説明した調査結果ですと、
0:26:11	花粉は出ない化石は出ないという状況の中で、
0:26:16	我々はその化石だっていうことが、その対比であるという考えで前回ご説明してたんですけどそこが、
0:26:24	やはり不十分だというご指摘をいただいている中で、じゃあどうしようかっていうふうに考えたのが今のロジックといたしますか。
0:26:33	まずはその回診に伴う堆積物だということが言えるだけで、どこまでのことがいえるのかというのを、示したのが今回の資料で、
0:26:44	そうするとそれは結果として古谷泥層に対比されるので、粗度の掃除に当たるんだっていう議論ができる。
0:26:51	かなと思うんですけど。
0:26:53	まずは古谷と古谷の同窓時に当たるのかという前に、
0:27:00	その合意の開始の堆積物だということが、
0:27:05	何か他の広がりであったり、
0:27:08	海成の根拠がどんなに頭近くから出てくるだとかそういうところは示せないかというのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:13	施工性の今のロジックといいますか説明、今トライしてるところになります。
0:27:22	何か広域的に対比できるんだと広域的に連続するんだってということ対比のレベルの違いがひょっとしたら、僕のイメージとはあるのかもしれない。あくまで連続的に分布するって、広域的に分布する示すには、
0:27:37	対比できなきゃ駄目じゃないですか。
0:27:41	んな、なんなんに対比できることと、別々の海成堆積物を示す中に、
0:27:49	広域的に分布するっていうのが入ってるんだったら、そこがもう対比になりそうな気もするんだけどな、何かその辺のですね、多分こう順番、考えてる思考の順番とかが、
0:28:01	何か強い聞いてて、
0:28:06	共通理解をしていないっていうのがちょっとあって、
0:28:10	その辺の
0:28:12	理屈の流れっていうのも、
0:28:14	もう一度す、整理して説明していただけたらなっていうのが私の希望です。
0:28:27	はい、そう、そのような、資料の説明。
0:28:31	そんな説明の資料を少し、
0:28:33	充実させたいと思います。禎なんて言いますかね。
0:28:38	若干補足なんですけど、
0:28:40	古谷泥層って、これまで、要するに1あたり先生がおっしゃった、前の、前々回の会合かなっておっしゃったように、
0:28:48	加瀬甲斐の化石とかがいっぱい入ってんでしょうと。
0:28:52	D微化石はいっぱい入ってるでしょ。それが古谷泥層なんですよ。
0:28:55	という印象だそれは
0:28:58	印象として正しくて、
0:29:02	ただ文献が、どうしてそういう文献が多いかっていうと、
0:29:07	化石の方が書いている文献だったり、
0:29:10	変える方が書いている文献だから見つけないと、論文文化しないんですよ。
0:29:15	で見つけてないところは、
0:29:17	要するに止めに埋もれてるわけですよ。
0:29:19	で、
0:29:20	その今ポイントとなっている加瀬北井武笠木曾層準というのはだからその間に埋もれてる部分なので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:27	その幾ら文献調査したところで、
0:29:29	そのこのところ
0:29:32	成果が出ない。
0:29:34	ことに関してフィーチャーした論文って出てこないでしょうか。
0:29:38	それはもうさんざん明後日わかりましたんでなので、
0:29:41	そこがちょっと、
0:29:43	今、
0:29:46	谷さんがおっしゃってる、一般的な、
0:29:49	その対比の仕方、
0:29:50	からちょっと外れた外れ一見外れたことをやってるように見えるのは、 そこで要するに稼ぎが見つければ終わり。
0:29:59	だけど稼ぎが見つかんなかったからといってバツではないってことをちゃんと言わなきゃいけない。
0:30:03	そこが難しいところで、
0:30:05	そういった意味で今は、いろいろ層相も調べると、結局古谷泥層で利益から、
0:30:12	繋がって、砂回れば泥層もあるっていうふうに層相もいろいろバラエティに富んでる。
0:30:18	で、明瞭なそんな広域という名前で挟まってるのは知られていない。
0:30:24	文献ではそういった化石の専門家の方がいっぱい文献を書いているから、 一見うじゃうじゃ化石が入ってるような地層になってるとかっていうところを、イメージを少しずつ、
0:30:39	いろいろ、いろんな地点数をふやすことで、
0:30:42	そういった層準もあるけど、違う層準もあります、こういうのも見つかりましたっていうのを順々に示して行って積み上げた上で、対比をしていこうかなと。
0:30:53	いう考えのもと今ちょっとやっていますので、
0:30:56	ちょっとそこだけそ、それをなかなかこう伝えるのが難しかったっていうのはあります。
0:31:03	はい。
0:31:04	だから、やろうとしてることっていうのは、これまでの延長線上にあるのはあって、ちゃんと比木2地点とも比べますよとただし、
0:31:15	何て言うんすかねこの比べる着目点とかはちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:20	これまでもそれでも行ってきたことではありますよね。同じような調査で示していくものは同じなんだけれどもそれが
0:31:31	何かいろいろ、
0:31:33	説明としては、
0:31:37	ちょっともう、もう少ししっかりと他のこともロジックとして補強したいっていうことなのかもしれないんですけど、シンプルに言ってしまえば、
0:31:46	なんかあんまり、
0:31:48	結局対比するんでしょっていうような、そこのちょっとロジックが何か変わってるようにももう見えてしまっていて、こういう話をしてしているんですけども、
0:32:01	状況わかりましたので、はい。
0:32:04	確認できましたので、
0:32:12	ほかよろしいですかちょっと今の部分で私も聞いておこうかなあと思っただんですけど広域の分布のところ、一応広がりがあるってことで日にち比木2っていうのかな他のところと古谷泥層んと、そもそも言われているところと、
0:32:25	この比較もしつつ、でも、一応広域だ改新堆積津田等M I S 5 e のでしょうと言った後に古谷泥層との対比もするじゃないですか。そこちの対比と前者の方の広域のところで見ているものと、
0:32:39	何か見るものってやっぱ違うんですが同じなんですかね。
0:32:44	後者の古谷泥層と対比の方は多分もう本当に古谷泥層下部層と名付ける。
0:32:50	古藤もう差し支えないレベルの、何て言うかその出ののかどうかっていうか、これ本来、多分論文書くなら古谷泥層と名付けてもいいんでしょうっていう多分そのレベルのもので、
0:33:00	前者のところは確かに層相だとか流行性粒子とか、分間有料とかって言うので、多分あんまり別にその古谷泥層と名付けれるかどうかという、そこまでのものを、
0:33:11	その比較をするつもりもないのかな、何か差があるんじゃないかなと思ってちょっと聞いてはいたんですけど、この傘があるんですかね、やっぱり。
0:33:23	はい。森本です当間です。松木さんおっしゃるように、
0:33:29	まず広がりとして

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:33	どれだけあるのかっていうところは今、笹木さんおっしゃったように、 1、
0:33:38	1件、
0:33:42	その地層の一般的な対比に使うような、と、こういったところで、
0:33:48	稼ぎが出るだとか、
0:33:50	火山灰が出るだとか、そういった、何か出るとっていうことの対比ことを もって対比するのではなくて、
0:33:58	まずはその同じようなで出ないなら出ないなりに、
0:34:02	同じ特徴を持った。
0:34:05	ベース堆積物が広がりを持って分布すると。
0:34:09	いうレベルの分布、
0:34:15	を考えてますで、それが古谷泥層という、
0:34:19	知れたものをどの層準に当たるのかっていうところを、
0:34:23	困った、また、
0:34:27	その後段で、
0:34:30	古谷泥層と対比っていうのを今、出向してると。
0:34:34	で古谷泥層をいろんな層相それから化石の出方に照らすと、この数字 に、
0:34:41	対比されるでしょうと。
0:34:43	いうところまで、細かくやって、
0:34:46	細かくやっていくというのがその古谷泥層の対比で今考えていたところ です。
0:34:53	いやもうもしそのモリモトさんの説明だとしたら今、層相、その前に僕 聞いたのがよくわからなくなってきて、
0:35:01	層相の対比をしっかりとるんじゃないのかなと思ってたんですけど も、その辺の結局、
0:35:09	ところで、
0:35:11	わかりにくいなと思います。対比っていうのはどういうものなのかって いうんでだから会合でも何か確認してたように、何をもってして、何が こう入れたら対比できると。
0:35:25	するのかっていうのはですね、ちょっと早めにまず説明した上で、それ だったら、確かに古谷じゃないかもしれないけど対比できるなんてそう いう高専。
0:35:38	そういう理解があるのかどうなのか僕は疑問なんですけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:41	うん。
0:35:42	ちょっと何をもって判断していくのかっていうのがやっぱりないと。
0:35:46	今の僕はその前の質問では理解したつもりだったけど、やっぱりちゃんと聞いてみると、何かイメージが違うなというふうな話になると思うので、そこをしっかりと説明してください。
0:36:00	はい、森本です小島谷さんおっしゃったのは要は広域の広がりエイシ示すってそれも
0:36:08	いわゆる対比なんだから、そこの材料ってちゃんと
0:36:13	へえ。
0:36:15	古谷泥層のどこに対比されるんだというところと、それからないんじゃないかっていう、
0:36:19	ご指摘だと思いますので、はい。ちょっとその辺は、整理してご説明させていただきます。
0:36:29	はい。
0:36:30	じゃあ、双方よろしいですか他にあります。
0:36:36	意識ですけども、
0:36:39	今後ご説明いただけるってことなんですけども6ページから8ページのいわゆる前、前提となる部分のところで広域、今の広域、ちょっと広域っていういろいろな意味があって、
0:36:52	私がこれだけ広域っていうのは、
0:36:55	何かこの9ページ目に今回
0:36:58	つけていただいているような下末吉だとかああいうところとか、
0:37:02	どういうふうにこの古谷と、
0:37:04	の関係性という過疎話を持ってくるのかなというところがあって、
0:37:09	あれですか一つその、
0:37:11	5eと。
0:37:13	Odでこう、乏しいかご水の堆積物っていうものは、5eのその泥層の上に力としてちゃんと乗ってくる、欲しいから乗ってくるんですっていうようなことを、他でもそういう事例があって、要は、今、
0:37:26	御前崎周辺であるその古谷泥層に笠名がちょこっと乗ってくるような状況は、やっぱりこの時代そういうもんですよということを比較するために持ってこようと思っていらっしゃるのかそれとも、
0:37:37	もっと、もう少し別のロジックとして、あそこのなんか50メートルが5、5位であるってことを言おうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:44	としての何か何か、
0:37:46	考えてる方向性みたいのが少しあれば、5章、ご説明、まだあれ、なければあれなんですけども、どういう方向でいくのかってことだけちょっと聞かせていただければと思うんですけども。
0:38:02	はい森本です。9 ペイジーで今いろんな、
0:38:07	今だと関東だとか、藤永井の事例なんかもしておりますけれども、
0:38:15	ここで言いたいのは、5Cだとか5Aみたいなさっきの仲井心、
0:38:22	んでは、
0:38:24	提出堆積部 I I
0:38:26	要は、
0:38:29	赤石に伴う堆積物というのは、内々なくて、
0:38:33	本当の高海面期、飯野山上が停滞したような、環境での堆積物しかないというところを、
0:38:40	日本の事例なんかも入れて、示したい。
0:38:45	端的に言うと層相いうことを示していくためにいろんな各地の
0:38:50	事例を三輪収集しているという状況です。
0:38:56	はい。ニシキです。
0:38:59	多分そういうものなんだろうなと思います。要はそういったものを示しながら、御前崎地域での状況とクラブで
0:39:11	いわゆる伴世界的なその海水準変動とで見られてそこでの反応として見られる堆積層の、例えば順番乗ってる順番みたいのが当然ここも同じですよってことをきちんと示したいというふうに使いたいというそういうことですね。
0:39:26	はい。
0:39:27	中部電力天野ですおっしゃる通り、今森本がご説明しましたちょっと補足すると、
0:39:32	いろいろ有識者の先生にもお話を聞いている中でやっぱり5Cの時代ってのはもう前崎あたりでのもうすでに概要制になってて、
0:39:42	要は泥層がたまる。
0:39:44	ような環境ではないでしょうっていうようなお話も聞いててそういった文献があるのかどうかっていうところも、整理をさせていただきたいと思って、一方で、5eのときってのはもう内湾性になってるんでそういう、
0:39:57	谷埋めが起きるというようなところも、ちゃんと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:02	漫画とかつげながらですねしっかり文献に基づいて、こういう環境であったので、5Cには泥層はなくてあくまで古家が残ってるところを削ったような、
0:40:13	環境であつたらうっていうところをちゃんとA Bをもって説明したいなっていうふうに考えてるんですけど、まだ、お話聞いているだけなものですからその辺をしっかり整理した上で、
0:40:23	ご説明したいと思っております。
0:40:26	規制庁の一色です。多分その辺りが、最後、きちんとやっていただかないといわゆる笠名礫層相当層を否定するっていうかそこには繋がってこないかと思えますそこが結構最後、
0:40:40	対比で古谷泥層ず言ってますけど最後やっぱり、じゃあでもそこに力あるじゃないかって話どうしてもなってくると思うのでそこら辺はきちんと説明いただけるようお願いいたします。
0:40:51	はい。中部電力嘉門です。はい。そのように対応して参ります。いや、やはりもうちょっと前回の時に、机上の空論じゃないですけど
0:41:01	2みたいな言い方をすると、その笠名っていう、そもそも笠名礫層ってどういうものか、古谷泥層ってどういうものかっていう説明が私ども足りてなかったっていうところがあるので、
0:41:14	今回はこの辺りしっかり先般審査会合でもご指摘いただいたように、古谷泥層ってのはこういう環境でこういうふうにとまっているものであって、笠名はこうなんで、
0:41:25	それと照らすとどうかで、藤タニさんおっしゃられた通り、対比をしながら、やはりこっち古家の相当層であろうというようなところを説明できるように、
0:41:37	文献等を含めてエビデンスは、まだそろえ中ですのでねまだこの資料の中に書ききれないものですから、どうしてもちょっと混乱を招いておりますのでしっかり書き切ってまたご説明したいと思います。
0:41:53	規制庁ニシキです。よろしく願いいたします。
0:42:02	はい。じゃ、地質関係はこのあたりでよろしいですかねお互い。はい。そしたらもう一つスケジュールの方ですねこれは書いてある通りと言えはそうなのかもしれないんですけど、
0:42:13	ちょっとそちらから何か質問なり説明じゃまず一旦、
0:42:18	そちらの理解、受け取った理解ということで、説明いただけますかね。二つ目の黒丸ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:25	はい中部電力の森本でございます。二つ目の●審査スケジュールについてです。
0:42:32	いただいたご指摘を記載しておりますが、効率的、効果的に審査を進める観点から、各審査項目について特に以下に示す。
0:42:45	説明に対する十分な準備を行うことと、
0:42:49	ということで、まず敷地の地質地質構造については、
0:42:53	先ほど来ご指摘をいただいておりますが基準適合を説明するための明確な論理構成とその根拠となる武将の、
0:43:01	説明が、
0:43:02	について準備することという認識でおります。
0:43:05	それから基準地震動につきましては、免震構造の採用を踏まえた、基準地震動の策定に係る説明、
0:43:13	について特に十分な準備を行うことという認識です。
0:43:19	それは基準津波の策定につきましては、
0:43:23	プレート間地震んの。津波以外、その他津波の評価、それから、プレート間地震の津波と、
0:43:33	その他津波の組み合わせの評価について、やはり選定の考え方、組み合わせの評価の考え方を含めた全体像の説明について、
0:43:43	十分な準備が必要という認識でおります。
0:43:47	審査スケジュールについては、更新を行いまして、
0:43:52	特に基準津波に係る審査の進め方についても具体的に説明することという認識でおります。
0:43:59	以上です。
0:44:04	はい。地質の方は、そのサブで同じ日に会合をやっているので、その通りということで、ただこの別に指摘事項としてはこの通りですけど、
0:44:18	あれですかねスケジュールの観点でいくと、ちょっと宙ぶらりんになって4月のところで速報というところが、なんか若干飛び地になってますねということで確か岸部長の大嶋の方から、
0:44:31	ハシがあって、
0:44:33	このあたり、多分ベンダーの時だとあれですねえ、少しその現地確認的なものの可能性とかいろんな言い方も、
0:44:42	含めて、多分当時は、2月の16からあの辺のときの資料ではそういう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:47	ふうな感じだったんだと思う。確かに飛び地になるとこれはいけない何 なんだっていうところはあるかもしれないんですけど、介護の間ではあ まりそちらからご提案はなかったんですけど、
0:44:57	一応審査の効率的な進め方というのを我々も去年委員会にかけてるん で、
0:45:03	一応事業者から提案があった、現地確認提案があった場合には、介護で の議論の前提となる認識を強化するために、審査資料上論点アロン議論 のある論点等を踏まえて必要に応じて、
0:45:16	現地確認の機会を設けるといのは、
0:45:18	あるので、
0:45:20	統一今回ちょっとす、ある程度論理構成とかあの辺がクリアになっ ていれば、速報で現地に行ってるっていうのは、スポンとあるような気も したんですけど。
0:45:31	ちょっと全体の構成とかどれをこう調査で一章2としているのかってい うところが、何かクリアになってない状態でいくと、
0:45:41	大量のものを誰を重視して現地確認に行ってくるかっていうのも、なか なか見えてこない部分があるので、
0:45:47	あくまでは仕事印象ですけど、ちょっとこのダイヤのところですぐ現地 確認に行ってから、次の会合っていうのは、何かあまりそういうイメー ジでも持たないのかなというのは、
0:45:58	ちょっと会合でのやりとりで印象は受けました。このあたり、調査結果 次は、今回のつけ返しですよね地質の方のつけ返しをどのあたりで、
0:46:09	入れるのか、調査の進捗状況も含めて、
0:46:12	と並行して説明するっていう形になるんで、多分実質の方は、次の会合 とかヒアリングどう設定していくかっていうのは、4月5月6月あたり のところは、
0:46:22	スケジュールとしても少し更新が入るのかなという理解でいます。
0:46:28	地震の方はですね、ちょっと書きっぷりだと
0:46:32	花粉実震災を踏まえた基準ニシノ策定かかる説明だとふわっとして書い てはあるんですけど、チラーの支社長会合のところでもやりとりありま したけど結局、
0:46:43	いわゆるS s Lって作るんですか、作らないんですか、作るならなぜ作 るのか作らないなぜつくらなくていいのかっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:51	そのあたりのところを、早めに潰しておいた方がいいということでのお話でした。
0:46:59	津波の方はですね、
0:47:02	書いてあるのは別にその他というところ以外か。
0:47:06	それらの組み合わせで、この書いてある通りではありますね。
0:47:12	特に
0:47:14	浜岡太平洋側ですけど、多分、いわゆる日本海溝沿いとかって南海トラフでは全くイコールでは、それぞれ背景はないので、
0:47:22	その辺りも踏まえて、ガイド上、一応列挙はしてあるものがあるので、そのあたりですね、これの組み合わせを考えるこれは考えないとかっていうところを、
0:47:33	早めにクリアにしておいた方がいいでしょうと。
0:47:37	結局最後そこで、もしかしたらプレート間とほぼ同じなのか、何か組み合わせた結果変わるのかっていうのは最後そこで、ほぼ基準津波って、
0:47:47	何ですかってのが決まることになるので、少し先を見せながらやっておかないと、プレート間以外のものも、じゃあどこまで評価、
0:47:57	中身見ますかとかっていうところもあると思うんですよ。本社的には、前スケジュールの会合のときにも、プレート間以外のその他の地震でどこまでパラスターやりますかとかっていうのもお話あったと思うんですけど。
0:48:10	それで組み合わせの対象にもならないようなものってどこまでやりますかと、明らかに大小関係もわかってるのにとか、多分そういうようなところをですね、早め全体像を見せてもらうことによって、
0:48:22	どこに移送されてお互い議論していくのかっていうのが、
0:48:26	わかったほうがいいかなということでございます。
0:48:31	あとは審査スケジュールの方が最後少し更新をしてということなんでおそらく、
0:48:38	基準津波の
0:48:40	策定の部分で全体像でそのときには、全体像を示しながら、これはこういうスケジュールで説明して議論していきたいと思います。またスケジュールとセットで、
0:48:49	出してくると思うんですけど、
0:48:52	それを、
0:48:55	最後に次5つめのレ点ですね、これを括弧書きで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:00	地質、基準地震動の基準津波ってのは、中身として何を説明しますか。で、そのスケジュールのところ更新する時に特に基準津波の
0:49:09	進め方ですね、というところで、
0:49:12	次の基準津波のところの全体像の説明のとか以後の時に、今回、ひもづける形で地震動とか地質とかも入ってる、全体の
0:49:24	スケジュールを出してもらおうんでしょうという。
0:49:27	そうすると、津波の進め方なんで、基準津波のところのバーをもうちょっと細かく書くのかなという。
0:49:36	そんなイメージでこちらを私はおりますので、
0:49:44	特に何かそちらからは趣旨確認をしたいんですがというのはありますでしょうか中部電力の岩瀬です基準地震動のところ免震構造を採用してというところについて、今ご指摘もありましたように、
0:50:00	別途免震用の基準地震動を作らなきゃいけないというところ。
0:50:05	この議論をどうするかってところが重要な論点だというのは、我々も認識しております。
0:50:10	で、そこについては少し当日ナカガワからも
0:50:15	別途作る。
0:50:17	よんではなくて一つにするようなニュアンスで少し説明をしましたけれども、少し免震のガイドの方が、一般的に想定しているのと、当社のガスタービンの免震層と少し違うところがありまして、
0:50:31	一般の御あの免震だと建物自体を守ることが多いので、大体主こういう周期が4秒とか5秒とか、免震ガイドを作るときの議論でもそれぐらいの固有周期が議論されてたと思うんですけども、
0:50:44	我々建屋ではなくてガスタービン自体を守るということを主眼に置いた関係で、もうちょっと2秒前後な感じで、少し、免震にしては簡単周期な。
0:50:54	延伸そうなるっていうところの特徴があると、そうすると周期的には普通の基準地震動等、
0:51:01	変わらないイメージになっているちょっとそこら辺が特殊性があるのと、あと、もう一つ大事な論点は、近くの震源基準地震動君短周期の基準地震動を決める近くの震源よりも遠いところで、
0:51:15	長期周期を出すようなM8とかM9の地震がないかっていうのが一つ大事な話だということを認識してるんですけども、それもうちMKの地震が一番近くにあると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:27	いう特殊な状況なので、もし漏今みたいな総合すると、一つの基準地震動で、免震も含めてしっかりどう基準地震動を作るかという視点で説明したいと思っておりますので、
0:51:40	そういった観点で多分、基準地震動の中で、名人層の保有周期がどうかとかそういった資料も入れないという、いけないという認識をしておりますのでそれも入れる形で資料を準備して参りますのでまた、
0:51:53	そのとき確認いただければと思います補足説明として以上です。
0:52:04	規制庁の名倉です。
0:52:09	免震の設計用の地震動を、
0:52:13	どういう適用範囲で、
0:52:16	施設関係の適用範囲で作成するかっていうことをまず定義付けしないとイケない。
0:52:22	のかなと思っていて、そのときに、今回採用するG T Gにもっばら再採用するような基準地震適用するような基準地震動
0:52:33	として策定するのかそうすると、
0:52:35	一般的に言う目免震構造というか、一般施設とかで行ってるような底面圧化をした長周期の方の、やや長周期側に振った。
0:52:46	免震構造は、今回はだから対象範囲に入らないとするのか、それとも将来とかも見据えた上で、その可能性があるかどうかは別として、
0:52:57	そういった適用範囲を念頭に検討するのか、そののところがちょっと明確に宣言しないとイケないのかな。それがその部分で善し悪しはちょっとあるんですけどね。
0:53:07	今んところは、あくまでもG T Gにも、これは採用をもっばら適用する基準地震動として別途策定する必要があるか否か。
0:53:19	ということで検討していると。
0:53:22	だからそこら辺をちょっとですね、今後の市採用とかも見据えた上でどういう適用範囲、
0:53:30	基準地震動を策定しようとしてるのか、それを施設の
0:53:35	何ていうかな、免震のターゲットの周期を念頭にどうするのかっていう方針ですね。
0:53:41	そのの説明はちゃんとしないといけないのかなと思ったけど、
0:53:45	中部電力の岩瀬ですコメントありがとうございます
0:53:49	ちょっとそこまで、
0:53:50	資料の時に明記することまでイメージできてなかった。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:54	ですので、ちゃんと今我々が作ろうとしている基準地震動がどこまでをターゲットにしたものかを必ず明記するような形で資料化してご説明したいと思いますありがとうございます。
0:54:09	ちなみに仙台。
0:54:11	は最初採用するということで設置変更許可、当初申請していて、
0:54:18	それで、そのときは、やや長周期に振っていて、3秒ぐらいでしたかね。
0:54:24	ということでその2倍を共振周期として考えた場合に5秒を10、従前の基準地震動の策定の信頼性範囲である5秒を超えて、10秒ぐらいまでちゃんとやってかなくちゃいけないと。
0:54:37	ということ策定をして、そのあと、免震構造、緊対で採用するのやめましたと。
0:54:46	設置変更許可申請をして、その際に、実は、何ていうかな、基準地震動は残していると。それは将来の策定。
0:54:56	将来そういう構造を採用することも今後、事業者としては考えていることもあるので、全く指定していないので、それについては残った残しますと。
0:55:07	いう形でやっています。
0:55:10	そういった前例もちょっと考えた場合に、基準地震動の策定として、今回、ターゲットだけでやってあげればいいのか、それとももう少し、
0:55:20	視野を広げて、その場合に策定しておいた方がいいのかとか、そういったところも少し考える必要はちょっとあるのかなと、検討だけはしておく必要があるかもしれないので、
0:55:33	ちょっとそういったところは社としてどういうふうに対応するのか。
0:55:38	あんまりこう、
0:55:40	その免震構造設計地震動に時間をかけていてもしょうがないというところもあるかもしれないので、もうターゲットを限定してしまって、適用範囲も限定した上で策定するのか。
0:55:51	そこはちょっと社としての判断はあるかなと思います。そこはちょっと明確にしていきたいなと思います。
0:55:59	事務局の竹山でございます。おっしゃるように、ターゲットということだと思います。弊社としては、
0:56:08	進藤の関係含めて免震につきましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:13	もともとは当然す。木内さんと同じように緊対所ってこともあったんですけど、
0:56:19	例えば遮へいの要求等を含めて
0:56:22	もう、耐震しかないというところあと特重になります必ず耐震になりまして、
0:56:28	今回見た中でも、もう
0:56:31	一番
0:56:33	市の要求プラスで多様性求められてる電源のところ今、我々弊社免震してますので、それ以外のところとしては、基本的に今免震を考えてるものもありませんし、
0:56:47	将来見たところも、
0:56:49	今免震をというところを想定するものを、ありませんので、
0:56:54	短期的には今回の免震G T G建屋限定という形がいいのかなとは思ってます。
0:57:07	すいません中澤でございますが、現状はそういう今武山が申し上げたような形ですけども社として、将来的にも考えた場合に今回、どういう形の条件を、
0:57:18	を考えておけばいいのかというふうなことをですね、しっかり判断をする形で、今後のS sの策定の資料、そういった中に反映をさせていただきたいと思っています。
0:57:35	長ナグラです。
0:57:38	あんまり無理しなくていいですよ。
0:57:40	無理しなくていったのは、
0:57:42	浜岡のサイト条件って、やっぱり堆積層が厚い。
0:57:48	だから長周期が卓越しやすいと。
0:57:52	いうところで、チャレンジングな取り組みとして免震層構造を採用していて、通常の免震構造等大分、
0:58:02	コンセプトが異なりますよね。
0:58:04	もうほとんど自由振動しないような、強制的に振動押さえ込んでいるので、もうほとんど、綿耐震みたいな構造であって、もう、その目、
0:58:17	うん。原籍校のところをいかに耐震設計するかと、いうところに終始したような構造なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:27	そういう意味で、サイトの特徴とか構造の特徴も踏まえた上でどうするかっていうのをちゃんとわかりやすく説明すれば理解可能かと思うので、
0:58:38	そういった考え方をしたとしての考え方を明確にしてくださいという趣旨です。
0:58:43	こちら辺はちょっとよく考えて説明してください。以上です。
0:58:51	はい。よろしいですか。はい。中部電力浜名でございます。一応津波の方は、の進め方ですけど
0:59:01	前回ご説明というか、
0:59:04	スケジュールの中に入れさせていただいた通りで私どもとしては、
0:59:09	要はその他津波個別と合わせて全体方針を
0:59:15	ご説明させていただきたいというふうに考えております。それなぜかというところでいきますと、結局、
0:59:23	どういう組み合わせをやっていくかという議論が、今後、効率的にやっていくのが一番重要であるってことは、規制庁さんとは、我々共通認識だと思ってるんですが一方で、
0:59:35	まだその他津波自体が決定はしていない海洋プレート内とか活断層に至ってまだ1今田審査会合でも数字が出てないのでオフィシャルに、
0:59:48	本当にプレート間と比べて影響が小さいのかっていう。
0:59:53	数字すら出てないという状況においてどうしても今回の地質の対応方針と一緒に、
1:00:00	方針だけ説明していくとでも数字がわかんなきゃ決定できないんじゃないかっていうような、
1:00:06	資金エグみたいなのが起き得るっていうのをすごく懸念しておりますので、コンパクトに説明はさせていただきたくて、当然、重要な議論として対応方針、
1:00:21	その組み合わせの方針をしっかりご説明しつつもそれぞれ規模感であり、どんな論点が残るかっていうところを中心に、一旦審査会合でご議論いただいて、
1:00:33	そこで出たコメント。
1:00:36	作って、小さい影響の小さい津波っていうのは、そこである程度ご理解いただいた上で組み合わせをよりの確に、どれを組み合わせるのかっていう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:46	そういったところをしっかりとご説明したいのと、今先行でご議論ある通り、やっぱり組み合わせた結果としてちゃんと上に凸の部分が拾えてるのかっていうのが、先行で非常に議論になっていることを重々、
1:01:00	承知しておりますのでそういったところをどうやってやっていくか。
1:01:04	私ども、もうプレート間地震の津波だけでも、
1:01:09	今回選んだ基準断層モデルでも何ケースぐらいあって、それぞれへ10センチぐらいしか変わらないんで、いずれも、
1:01:16	組み合わせの当然候補になってきますと、そこに、
1:01:20	地すべりを数種類かけて、またそれを数秒ピッチでやっていくと、とんでもない解析ケースになりますので、そういったところも、
1:01:31	当然、影響の大きいところをまずスクリーニングしながら、ここが大きいであろうというところを示した上で、より細かく上に凸を出していくっていうなことを考えてますんでそういったところをしっかりと、
1:01:46	審査会合の場でご確認いただいた上で、そういった大きな方向性でやっていこうかっていうような議論をしたいのでちょっと詰め込みにはなっちゃうんですけど、分けちゃうと、
1:01:59	また、数字がわからないからもう1回ねみたいなのがすごく危惧しておりますので是非ともそこをお願いしたいなと思っておりますのでございます。
1:02:15	規制庁のナグラです。
1:02:20	詰め込みたい。
1:02:22	なるべく集約したいっていう気持ちはわかるんですけど。
1:02:25	それをやりやるがために、
1:02:28	結局私たちもある程度会合にかけるものに関しては、初めてもしくはコメント回答。
1:02:38	そういったところも含めて論点、指摘事項をちゃんと全部整理し尽くさないといけないので、
1:02:44	ヒアリングは分量というか物量が多いということもあって、多分かなり時間を要するだろうと。
1:02:53	考えてるのでこれを全体詰め込んでってそっちは集約して説明して、早くやってくださいっていうことをやろうとしてるんだと思いますけど、これおそらく2ヶ月ぐらいかかるような感じがします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:04	そうすると、かなり指摘をするタイミングが遅れてしまうので、逆にこちらの方に何か検討を具体的にしてもらいたいといった項目が今回ありそうなんですけど。
1:03:16	それを指摘するタイミングが遅くなってしまって結果的に、
1:03:21	基準津波の組み合わせのところまで含めた全体の審査期間がかなり延びてしまう可能性があります。
1:03:28	ということでそれを防止したいので、どうするかっていうことを今私たちも悩んでいるという状況です。私の認識では、
1:03:40	地すべりと火山現象に関しては、1回も説明はしていてコメント回答ってことですよね。
1:03:45	まだ説明を実はしてないのが海洋プレート内と海域の活断層は説明してないと。
1:03:51	あと津波の組み合わせも説明していないと。
1:03:54	このうち、海洋プレート内と海域の活断層のところ、
1:03:59	これを説明する機会に、
1:04:02	組み合わせも含めて、全体方針を示して、
1:04:06	コメント回答は一旦後にするとか、
1:04:09	そういった形でなるべく早めに開催するやり方。
1:04:13	を考えた方がいいかな。
1:04:15	やっぱりポイントになるのは、海洋プレート内会議の活断層と言っても海域の活断層、
1:04:23	とどういうふうに組み合わせるのか。
1:04:26	組み合わせる必要がないという主張、それがどういう根拠に基づいて、そういう主張をしているのか、それに対してこちらがどう
1:04:36	何をこう聞いていくのかっていうことかもしれないですけど、
1:04:41	そこのところが私達重要だと思ってそれを早くやりたい。
1:04:46	だからそういう意味で、何を説明をするタイミングでどういう全体像を説明するのか。
1:04:53	というところを、
1:04:55	ちょっとお互いに意識合わせをしつつ、なるべく早めにやりたいなというふうにちょっと思っています。
1:05:01	検討していただけますかね。やり方。
1:05:04	はい。渋谷赤間でございます。ありがとうございます。
1:05:07	名倉調整官のおっしゃる通りで、は私たちも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:11	早く、最後の議論まで持っていきたいもんですから、少しそのあたり考え、いかに、
1:05:19	全体方針含めながら、効率的にいけるかをもう一度考えて、ご相談申し上げます。
1:05:30	はい。
1:05:30	他、よろしいですか。
1:05:34	大丈夫そうですか。
1:05:36	はい。それではスケジュールの方の確認も終わりましたので以上で、1122回審査会合の指摘事項の確認ということを終了したいと思います。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。